※敬称略

大　賞　｜団 体｜ 玄界校区自治協議会環境美化

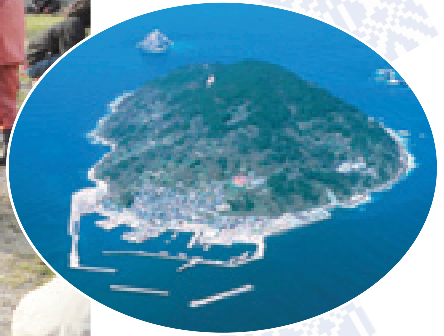
昭和30年以来続く、地域に根付いた定期的な清掃活動

　昭和30年に婦人部(現在は女性部)として発足以来、長きにわたり、島内の清掃活動に取り組んでいる。女性部が中心となった定期的な海岸清掃は、地域に根付いており、島民の2割近くの90名以上の参加がみられ、草取りやごみ拾いを実施している。仕事などで昼間島を離れる人も多い中、地域住民が集まる交流の場となっており、活動は参加者の楽しみとなっている。

　早朝より活動しているが、季節により時間帯を変えているため、掲示板への張り紙や島内放送などで周知している。当日参加できない人も、前日などにあらかじめ清掃に取り組んでおり、例えば、幼い子どもがいる人は、子どもが保育園に行っている平日などに清掃を行っている。こうした工夫が、活動の継続につながっている。

　また、平成17年の福岡県西方沖地震の際も、「活動を途絶えさせない」という想いから、避難先でも清掃活動を続けていた。

　他にも、波止場では、ごみのたまり具合や波の状況を見ながら、年間36回を目標に約10名で漂着ごみを回収しており、当番制で神社の庭掃除も行うなど、島内の環境美化に貢献している。



最優秀賞　｜個 人｜ 石川　孝治

住民が一体となった環境活動を呼びかける、地域のリーダー

　長年にわたり香椎東校区の環境活動推進会議の会長としてリーダーシップを発揮。

　「専任の人を常駐させるのではなく、地域で協力して運営しよう」という想いから、地域に働きかけ、リサイクルステーションを地域全体で運営する体制を整えた。これにより、ごみ減量･リサイクルに対する地域住民の意識が高まり、取組みも定着し、円滑に運営されている。

　また、自ら食廃油での石鹸作りを学び、講習会を開いて地域に広めており、受講者に喜ばれている。

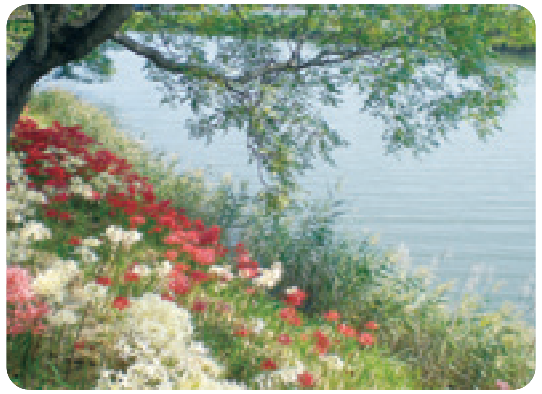
　さらに、地域に呼びかけ、住民が一体となった清掃活動に取り組んでおり、平成22年より始めた香椎川の清掃活動には、毎年200人以上の参加が見られる。環境に対する意識向上の機会にもなっており、川へのごみの投げ捨てや自転車の投げ入れが減少し、自然環境の保護につながっている。

　違反広告追放や不法投棄防止のための活動も定期的に実施し、リーダーとして地域の環境美化に貢献している。

最優秀賞　｜団 体｜ 福岡市瑞梅寺川を守る会

瑞梅寺川の清掃活動と彼岸花植栽による環境美化

　元岡校区の中心を流れる瑞梅寺川の美化と環境を守り、人々の心が癒されることを願い、地域住民が清掃活動を始めた。以来、約50年もの長きにわたり、地域住民が一体となって、瑞梅寺川周辺のごみ拾い、清掃、草刈りを行っている。

　12年前からは河川敷に彼岸花を植え、秋には見事な花を咲かせており、多くの人の目を楽しませている。

　活動を目にした地域住民の意識も高まり、長年の活動により空き缶やごみが減少。きれいな瑞梅寺川を保っている。100名以上の地域住民が積極的に活動に参加しており、交流の場にもなっている。